

事業名称			
事業名	飯田工業・飯田長姫統合高校建設工事		
整理番号	5		
事業の種類	学校建設		
市町村名	飯田市		
箇所名(代表地番)	飯田市鼎名古熊2535-2		
事業年度	平成22年度～24年度		
事業概要			
目的	飯田工業高校と飯田長姫高校の統合に伴う校舎・施設等の整備		
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	電気科棟(RC4F)、ものづくり棟(RC4F)、機械科棟(RC4F)、施工実習棟(S1F)、芸術科棟(S2F)、渡り廊下(S2F)、部室・弓道棟(S2F)、自転車置場(S2F)		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 県景観条例の住民協定地区		
その他	なし		
環境要素			
	環境配慮の方針		
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。 建築物の密閉性向上、出入り口の構造の工夫、排水処理槽の被覆等により、悪臭の漏洩を防止する。		
地形・地質	地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		
景観	主要な眺望景観を阻害するような建築物の立地を出来るだけ避ける。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺の景観との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。		
文化財等	文化財等地域で親しまれている歴史的な建築物・構造物などやその周辺へ影響を及ぼすおそれがある立地を出来るだけ避ける。		
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。 施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。 地熱、太陽光、バイオマス等の自然エネルギーや雨水、廃熱等の有効利用に努める。 LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 建築物の断熱化に努める。		
日照障害・電波障害・光害	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。 電波障害が予測される場合は、電波吸収材や反射材の使用による反射障害や遮へい障害の防止を検討する。		
番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	廃棄物・建設残土	・改築等に伴い校舎等を解体する場合は、発生する建設廃棄物または建設残土を適正処理すること。	建設廃棄物、建設発生土の適正処理を行います。
2	省資源・省エネルギー・温室効果ガス	・太陽光発電等の新エネルギー設備の導入を検討すること。	太陽光発電設備を設置します。